

令和元年10月1日(火)



つつじが丘小学校
学校だより

つつじ

昭島市立つつじが丘小学校長 上田 祥市



本校の目指す学び

校長 上田 祥市

『感謝を忘れず、全力で、
仲間とともにかけぬけろ！』

これが、今年の運動会のスローガンでした。運動会実行委員会を中心に全クラスから出された意見をまとめて作ったものです。運動会のスローガンでは、全力や協力、仲間等の言葉が入ることが多いのですが、まず初めに『感謝を忘れず』と入っていることに、嬉しく思いました。

自分が今あることは、周りの方々のおかげであり、当たり前前に思っていることも当たり前ではないこと、支えられて生きていることの感謝に気付くことが大切だと思います。運動会では、各係を務める高学年の子供たちが、それぞれの役割をしっかりと果たしていました。応援団は、力強くきびきびとした態度で精一杯の声を張り上げ、みんなを元気づけました。練習では、先生や仲間と一緒に励まし合い、高め合い、ダンスを覚えたり、技を成功させたりしてきました。そして当日、自分を応援してくれる保護者の方々や地域の皆さんの顔を見て、嬉しさが弾けるような笑顔で輝く子供たちの姿がありました。人は、自分のことを見てくれる、信じてくれる人がいることを知っていること、一緒に歩いてくれる人がいることがわかっていることで、一歩を踏み出す勇気が出ます。自分にとって大切な存在に気付き、自然に感謝の気持ちが湧き起これば、決して独りよがりにならずに謙虚に学び続けることの大切さにも気付いていくはずです。

『深い学びは、おもしろい
～「!？」「もっと知りたい」「できた」
を引き出す授業を通して～』

これは、本校の校内研究のテーマです。校内研究とは、先生たちが自分たち一人一人の授業力向上に向けて、「目指す授業」を考え、どういう授業をすればテーマに迫れるか個々の考えをぶつけ合い、授業案を作成し、研究授業を通して検証していく研究です。本校では、日常での授業研究を大切に行っているため、同じ内容や視点で授業を行う学年を柱とし、全ての学年、杉の子学級、そよかぜ教室で研究授業を行います。

『深い学びはおもしろい』というテーマは、昨年度より新学習指導要領の方向性を理解し、学びとは何かを考え続けた結果、たどり着いたキーワードになっています。子供たちが「おもしろい」と感じる学びは、子供たちの知的好奇心を高め、「!？」（不思議だな、なぜだろう）」という疑問をもち、「もっと知りたい」と意欲的に課題解決の方策を考え、試行錯誤しながらやってみて、「できた」「わかった」に繋がる学びであると考えています。

やらされる学習から主体的に学ぶ学習へこれからも本校の先生たちのチャレンジは続きます。それが、将来子供たちが力強く、自分を信じ、生きていく力になると私たちは考えています。「感謝」と「おもしろい学び」の追求は、『自立と共生』へと繋がっていきます。